総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

2．分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（10/11）

	評価区分（※）	評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 総合評価	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
環境観光モデル都市づくり推進特区（広島県）	正	2.7	2.3 進捗度 ・世帯あたりにおけるCO2排出量（家庭部門、運輸（旅客部門）の自家用乗用車利用による排出を含む） 14% ・環境学習等を目的とした産業観光客数 68%	3.4 規制の特例等 ・住宅（社宅）における直流配線に関する基準の明確化 等 財政支援等 ・地域内の最適なエネルギーマネジメント構築事業・地域エネルギーバックアップシステム構築事業 地域独自の取組 ・広島県総合特区事業費補助金 等	2.5	・EV活用のエネルギーマネジメント、産業観光の双方とも、目標に向けた取組み姿勢は伺われるものの、平成26年度の実績に対して、具体的な要因分析が不十分と思われる。 ・事前の目標設定の積上げに対して、どの部分が伸び悩んでいるのか、要因分析をしっかり行い、次年度への取組みにつなげてほしい。 ・エコツーリズムに関しては国内に同様な取組みを行っている地域（岡山県真庭市など）もあるので、参考に取り組まれたい。 ・評価指標（1）（世帯あたりにおけるCO2排出量）については、成果が出るまでに時間がかかるのであれば、取組みの達成度合いを適切に評価できる指標の設定を検討されたい。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。